

【議事録】

■案件名： PARK-PFI「桃山公園」の魅力向上事業

■会議名： 第9回 桃山公園ミーティング

■日時：2024年12月7日(土) 13:30 ~ 15:30

■場所：桃山台市民ホール（2階）

■参加者(敬称略)

(学識経験者)大阪公立大学 緑地環境科学専攻 松尾准教授

(桃山台自治団体協議会)小山

(ブランド桃山台)辻

(桃山公園を守る会)田中

(桃山公園クラブ)稲山

(吹田市 公園みどり室)川本、森木、水永

(指定管理者)グリーンホスピタルサプライ桃山公園

白石、八木、田中、濱崎、野田、植野

■記録者：植野(指定管理者)

■資料：第9回桃山公園ミーティング 次第
パークマネジメントプラン運用について
イベント実施報告

1. 話し合いのルールについて

【説明：グリーンホスピタルサプライ桃山公園 田中】

- 1 発言はできるだけ短く、1回につき一つ
- 2 他の人の意見にしっかり耳を傾けよう
- 3 前向きな思考で発言しよう
- 4 話し合いに積極的に参加しましょう

2. これまでの振り返り

【説明：グリーンホスピタルサプライ桃山公園 田中】

- | | |
|--------------------|------------|
| ・指定管理業務の振り返り | ・管理業務と自主事業 |
| ・自己評価(分析) | ・解決策・具体案 |
| 植物管理・・・生育状態の把握が不十分 | 樹木管理台帳の策定 |
| 施設管理、清掃・・・できている | 竹林整備 |

3. 議題・今後について

(1) 樹木管理台帳について

【説明：グリーンホスピタルサプライ桃山公園 田中】

安全を確保すること、危険木の確認や今後の植樹計画に役立てられるようにすることが目的

公園外周の樹木と公園内の樹木に分けて管理

公園外周の樹木・・・過去の管理台帳を基に台帳の更新を実施

公園内の樹木・・・そもそも台帳がないため台帳の基となるものを作成

【ご意見／ご質問】

A委員：公園外周の状況、南東側、公衆電話ボックス周辺、歩道側にまで樹木の枝が伸びてきている。安全上好ましくないし、夜歩いていてもかなり暗いので、早く対応してほしい。

<指定管理者>

作業の中で、公園の敷地外に出ている部分や法的に決められている高さを下回って垂れ下がっている危険箇所に関しては、即座に対応したい。指摘の箇所についても、具体的に確認しながら対処したい。

B委員：代表だけが質疑に参加するのは、責任が重い。住民の熱心な方が出席して、質問も受けられないというのであれば、代理質問することはできるのか。

<指定管理者>

もし意見があれば団体でまとめて頂き、まとめた意見を協議会の場で回答するという形式を取らなければ、なかなか前へ進まないため、1ヶ月前に資料をお配りしている。スムーズな運営にご協力頂きたい。

B委員：質疑の時間が早く終わって、時間あればフリートークしてはどうか。傍聴席の方が多いのに、発言できないのは納得できない。ルールはわかるが、それに固執してしまうと本当の意見は指定管理者に伝わらない。

<指定管理者>

以前から同様の話が出ているが、協議会の場で個人個人が発言すると收拾がつかないため、各団体で責任をもって意見をまとめてきて欲しい。

C委員：歩道に根が盛り上がっていて、私を含めて躓いたことがある人がいる。見て頂けないか。

<指定管理者>

管理台帳を作成し、危険箇所について吹田市みどり室とも相談しながら、危険を知らせる措置を取ればと考えている。南側園路に歩行注意のシールを貼っている。このような対応を増やしていく。

C委員：なだらかに、歩いていて違和感ないようにできないか。

<松尾先生>

あまり事例を把握できてないので、何か役に立てる何かがあればお話しさせて頂き、どうしていくか考えていきたい。

C委員：真砂土を入れて埋めたらどうか。それで真っすぐになる。歩道のところだけ綺麗にしたら良い。

C委員：枝の垂れ下がりの基準はあるのか。

<吹田市>

道路の基準では、歩道が2.5m、車道が4.5m

B委員：2025年3月までに全部台帳はできあがるのか。台帳は私たちに見せてくれるのか。

<指定管理者>

共有する。パークセンターで共有することになると思うが、データを渡すことまでは考えてない。

C委員：台帳の調べる項目は何か。

<指定管理者>

高さ、幹回りなど、資料で示している内容。専門ではないので樹齢は示すことはできないが、見てわかる樹勢については示していく。

B委員：それは閲覧できるのか。

<指定管理者>

パークセンターで閲覧できるようにする。

B委員：写真にとってもいいのか。

<吹田市>

していただいて結構。

(2) 竹林の管理について

【説明：グリーンホスピタルサプライ桃山公園 田中】

大阪みどりの百選に選ばれた竹林を「景観」として残すためにできることをやる

現状、課題、解決策に整理

【ご意見／ご質問】

B委員：最初に反省すべき点があると言っていたが、現状、課題、解決策に含まれているのか。

<指定管理者>

その通り。

B委員：新たなボランティア団体の募集と言われるが、Dさんが代表されているボランティア団体の方はどう言われているのか。

<指定管理者>

人手不足を解決するために、あくまで解決策の案の一つを提案した。

C委員：吹田市内の竹林は、ボランティアが高齢化して人数が減って、あんな状態になっている。ボランティア団体に任すにしても若い人を募集し、増強しないといけない。7、8年前に真砂土入れて、肥料入れて、少し良くなったが。それからほったらかし。基本的に、愛情不足。

B委員：竹がすごく横に伸びて、クスノキの方まで生えている。根がやられてしまうので、速やかに切っただけ欲しい。竹林の周りに柵があるが、15～16年前にはなかった。あの柵はなくても良いのではないかと思う。

C委員：誰でも入れないように、どこの竹林でもだいたい柵をしている。竹林は、入ったら落ち葉で滑る。危険だから柵をしている、それだけのこと。

B委員：竹のイベントはあるのか。

<指定管理者>

今後、竹を使ったイベントはやりたいと思っている。協議会の中で、一緒になって考えていけたらと思っている。

C委員：とりあえず、いまの竹林はみすぼらしい。もっと愛情注いで、今の竹林を再生する方に力を注いで、再生した暁にイベントをしたらいい。竹林が枯れているのに、イベントしたっておかしい。発想がちょっとおかしいと思う。

B委員：ぼかし肥料をしてみてもどうか。竹チップに糠とかを混ぜて、発酵させて、肥料にする。竹のマルチングのためには有効。

(3) 島の今後と南東入口の整備について

【説明：グリーンホスピタルサプライ桃山公園 田中】

・島の今後

生物多様性のバランスを含めて、景観・環境を維持

定期的に針や糸の除去作業を実施

ゴミが投げ込まれる場合には回収

・南東入口の整備

自然は残しながら、花壇の設置、定期的な南東入口付近の除草を実施

【ご意見／ご質問】

C委員：島か浮島か知りませんが、雑草を伸ばしたままになっている。なぜ散髪剪定しないのか。雑草を伸ばしたままだったら、見苦しい。伸ばすなりに綺麗に剪定をして伸ばすという風にした方がいいんじゃないか。

<指定管理者>

昨年、一旦綺麗に刈った後に、いろんな意見があったので、今年についてはそのまま残すことにした。

B委員：二つ意見あると思う。伸ばしたら伸ばしたで切ってくれって言うし。

C委員：長髪で良い。長髪で散髪したらよい。切るなというから切っていないだけ、そんなこと言っただけいけない。

B委員：今までの公園の清掃は、島まで入って草は刈ってなかった。伸ばしっぱなしと言えそうだけど、鳥はその方を好んでいた。

C委員：隠れ家みたいな小屋置いたから、長髪なら長髪できれいにしたら良い。

<指定管理者>

放置しているように見えるのも事実なので、いろいろ実験的にやれば良いと思っている。今の意見は参考にさせてもらって次は整える。

C委員：南東入口、除草は基本的にしないと赤で書いている。そんなこと勝手にされたら困る。誰がそんなこと言い出したのか。

<指定管理者>

取り方が少し違う。今まで通りの運用とするなか、必要以上には刈ったりしないと言う意味。記載方法の問題だが従来どおりと考えてもらいたい。説明不十分で申し訳ない。

C委員：ポンプのイメージがわからない。

<指定管理者>

池の水をくみ上げるポンプで、それを池のそばに置いて、バッテリー式で使用するもの。常に置いておくわけではない。

C委員：配管できないから、池からバケツで水をくむのと変わらない。

B委員：ポンプはまた撤収というのか、持って帰るのか。

<指定管理者>

小さいので、持って帰れる。置くとしたら、バッテリーを外しておく。

C委員：前回か前々回に、吹田市がこの件で予算をつけられたと言っていたと思う。たしか 120 万で。

<吹田市>

前回の時に、水栓がいるということになって、今、予算要求している状況。

<指定管理者>

こちらで買ったポンプは、市で予算要求してやるとしてもだいぶ先なので、その前にやりたかったので、何か出来ないかということでもう一回検討した。

B委員：倉庫の件は、いつになったらやってくれるのか。いつも保留。

<指定管理者>

限られた金額の中で優先順に実行している。それが後になるか先になるかで、前回議題になったポンプの件を優先させて頂いた。ロッカーの件は、今のままが正しいとは思っていない。次と思っている。この問題は、一気に解決はしないので、ある程度みんな腹落ちしてからでなければやらない方がいいと思っている。

C委員：竹でするのは、耐用年数は2~3年しか持たない。竹は腐るから。スチール製の軽いものを買ったら良いのではないか、もし色が目立つのであれば、景観に配慮した色に塗って周りに木植えたらいい。

<指定管理者>

実際、今このロッカーが不自由かといったら緊急性はそこまでなく、不自由でもないので慌てて決める必要はないと思っている。

B委員：守る会でも、このロッカーはぜひやって頂きたい。ただ、この場所でなくても、水道はパークセンターの方にもあるので、パークセンターの近くの一角か、東屋のところの従来ロッカーが3つおいてあるところにも水道がある。

<指定管理者>

結局、結論を言うと水栓があるところの近くになる。ただ、どこに持って行っても、賛否は出てくる。みなさんのロッカーへの思いが熱いことは理解しているので、安易なことはしたくない。今のところは保留とする。

B委員：南東入口の件でプランターについて何も書いてなかった。前はプランターを移動することになっていたがそれは取りやめになったのか。

<指定管理者>

その話をCさんとしている。大体のデザインは決まっているが、実際にしていただく中で、あのプランターでは生育が悪いということなので、それはやめて、ブロックで囲もうと考えている。

B委員：プランターを移動することも、捨てるにもお金がかかる。

C委員：プラスチックだから軽い。コンクリートではない。

B委員：コンクリートみたいに見えた。

C委員：私は現物を見ている。樹脂で作ってある。コンクリートだったら動かない。

4. 今後のスケジュールについて

【説明：グリーンホスピタルサプライ桃山公園 田中】

- ・秋祭りは延期
- ・竹林の管理や樹木の管理台帳など今必要なことに専念
- ・12/21 クリスマスイベント実施
サンタに願い事を書くイベント、お子様にはお菓子をプレゼント
- ・キッチンカーは継続
- ・守る会からの質問に対する回答

【ご意見／ご質問】

B委員：明日、桃山公園自然観察会を開く。9時半～パークセンターの前集合。関心がある方がいたら参加してみませんか。桃山公園ボランティアの会を実施し30名参加した。

C委員：ボランティアの会に参加したが箒などが足りなかった。倉庫をぜひ大きく格好良くして欲しい。
B委員：桃山公園のボランティアは、すごく活動がしにくい。縛りが強い。やる前に、必ず申請用紙を記入しなければならないし、清掃場所も記入する。また用具購入の申請を7月にしているが、それに対する回答がない。「支給しない」「支給する」という回答が欲しい。それが申請を出したものである礼儀。中途半端で保留。ボランティアをどういう風に考えているのか、指定管理者のボランティアに対する考えを聞いてみたい。提案だが、第10回の桃山公園ミーティングでボランティアについてという時間を設けて、グリーンホスピタルさんがボランティアについてどのように考えているのかお聞きしたい。

<指定管理者>

以前あった際に口頭でこういう理由で出せないという回答したが、それでは不十分ということか。

B委員：出せないというは、Eボランティア団体の箒に関してでは。私たちの箒に関しては、何も言わなかった。

<指定管理者>

その時、倉庫に入れるからと言っていたので、倉庫に入らないから無理だと伝えた。それが回答だと認識していた。

<松尾先生>

行き違いがあったのでは。

<指定管理者>

かみ合っていないのは申し訳ありません。

B委員：こういうことも含めて、次回きっちり時間を頂きたい。

<指定管理者>

このためだけに協議会の時間を取るの、やめておいた方がいいのではないかと個別で話をしている。

<松尾先生>

個別の案件に対して、ボランティアをどうするかというのは上げさせていただく。

全体で協議するというのは、何を協議するのか具体的になっていないと思うので、一旦、個別に相談して、その中で協議しなければいけないところでは上げていく。

B委員：みなさん気分を悪くされると思うが「指定管理の方針に合うボランティアは優遇します」「指定管理の方針に合わないボランティアはスルーします」ということを感じる。

一生懸命続けていても、用具をくださいと言っても何も対応しないのかということはあるのか。自分たちがスルーされていると言っておられます。

C委員：ボランティア団体で差別をしていることはない。また感じた事もないです。

<指定管理者>

Eボランティア団体に関しても、こちらで話をしている。人数が少なくなって、ロッカーにまだ新しい道具があるので、ルール化して代表者が持ってきて下さいとなった。個別に言ってきたら收拾がつかなくなったのでその時はお断りしている。この間お会いしたときにお話しした。

B委員：それについては納得したが、Eボランティア団体は納得していない。

<指定管理者>

我々もEボランティア団体と話をし納得してもらっているので、直接話をさせていただく。ボランティアの方に「差別だ」と言われたが、我々がこの間のボランティアの会に参加することはない。平等で一緒にさせて頂いている。

次回またボランティアの方を集めてやって頂けるのであれば参加し、道具も集める。やって頂いていることには感謝している。平等に取扱っていると思っている。

C委員：ボランティアに差別しているという発言は、問題。気分悪い。私は、優遇されているわけではない。契約した範囲内でやっているだけで、勝手なことしているわけではない。行き違いでも、言っているいいことと悪いことがある。

C委員：Cさんのことを言ったわけではない。

C委員：ボランティア団体は4団体しかない。竹の会もあなたも言っていて「あちらの人も言ってます」となれば、うちしか残らない。こんなところという問題と違う。

<指定管理者>

今後何かあったら直接各ボランティア団体と話をするので、第三者が介入することはやめましょう。そのためにボランティアも契約している。

C委員：公の場なのでわきまえて話をしないとイケない。

5. その他

C委員：樹木台帳の活用方法は具体的に何か描いているのか。

<指定管理者>

状態の悪いところは専門家の意見を聞きながらやっていく。今後、ここに植樹しないといけないうちに協議会で提案をするための資料だと思っている。共有もしていく。

B委員：樹木台帳ができたなら、この公園をどのような公園にするのか、方向性を決めていってもらいたい。

<指定管理者>

我々だけで提案をしていくのではなく、この協議会の場で話し合っていければと思っている。

A委員：初めの際は自治会とか管理組合とかも出てきていたが、会議に意味がないと思ってきていないのかもしれないが、資料は送ってくれているか。

<指定管理者>

送っている。

A委員：送っているが、この会議に来ないということはその辺会社としては？

<指定管理者>

欠席の連絡は取っている。

C委員：協議会は、土曜日か。

<指定管理者>

基本的には、平日を考えている。土曜日という意見もあったが、様々な意見がある中で、必ず土曜日というのも難しいので、年に1回は土曜日にするとか。それも皆さんの意見も聞いていきたい。

C委員：皆さんは企業なので、平日の方がいいですか。

<指定管理者>

それもあがるが、他の場所では、土日の方が出席率悪かったりする。一概に土曜日だからいけるといっても難しいのかもしれない。

B委員：傍聴の方から「住民として傍聴に来ている。各団体所属ではないけども、そういう者には質問する場はどこにあるのか」という質問がある。

<指定管理者>

そのためにパークセンターがあるので、そこでご意見いただいて協議会にあげるというルー

トがある。住民の声なので、必要であればここで発表できる。今回そういう方がいらっしまったのは申し訳なかった。

傍聴者：前々回は、傍聴の人でも発言できた。

<松尾先生>

前々回までは、そういう形でやっているとなかなか議題が進まないということで、今回こういう形をとった。パークセンターの方に、個別に住民の方から頂いている意見の確認はできていなかったの、一旦、パークセンタールートで団体に所属されていない方の意見をくみ取る形で、議題を考えていきたい。

B委員：指定管理者の人数に対応するように、委員は、各団体から代表の数せめて複数人座れるようにして欲しい。

<指定管理者>

検討します。基本的には、今の形が望ましいと考えている。

B委員：前、感想を聞かれたこともあった。

<指定管理者>

初回の開催時はそうだった、あの時はまだスムーズに進んでいた。今後は時間内に回るように努めていく。

以上